



平成 26 年 4 月 30 日
日本原子力発電株式会社

平成 26 年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画について

当社、東海発電所、東海第二発電所の平成 26 年度の事業計画について、本日、安全協定に基づき、「東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書」を関係自治体へ提出しました。

提出した「年間主要事業計画」の概要については、別紙のとおりです。

(別 紙)

平成 26 年度 東海発電所・東海第二発電所の主要事業計画概要

以 上

平成 26 年度 東海発電所・東海第二発電所の主要事業計画概要

東海発電所は、昨年に引き続き熱交換器の解体撤去等を確実に進めていくとともに、廃止措置工事を着実に実施・継続してまいります。

また、放射性物質濃度の極めて低い廃棄物（レベル 3）の敷地内埋設に関しては、今後とも地域の皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

東海第二発電所は、平成 23 年 5 月 21 日から開始した第 25 回定期検査において計画した点検、検査等に加え、地震により影響を受けた設備、機器の点検補修を実施してまいりましたが、停止期間が長期化していることから、原子炉施設保安規定に基づく必要な保全を実施し、発電所機器の機能維持・管理に努めております。

また、福島第一原子力発電所事故を踏まえ、自主的に実施してまいりました電源や冷却手段の確保、浸水防止等の安全対策に加え、昨年施行された発電用原子炉施設の「新規制基準」に適合すべく、関連設備の工事を進めており、今後、その適合性について、原子力規制委員会へ設置変更許可を地元の理解を得た上で申請したいと考えています。

これらの活動について、地域の皆様へ十分なご説明を行ってまいります。

1. 運転計画

平成 26 年度の東海第二発電所の運転計画は、以下のとおりです。

- ・ 発電電力量：未定
- ・ 定期検査：平成 23 年 5 月 21 日開始
(燃料装荷時期及び定期検査終了日は未定)

2. 主な工事等

(1) 東海発電所

1) 廃止措置工事

3, 4 号熱交換器周辺機器の撤去工事等を継続していきます。

「放射性物質として扱う必要のない物（クリアランス物）」については、引き続き再生利用等資源の有効活用に取り組んでいきます。

(添付資料－1 参照)

(2) 東海第二発電所

1) 使用済燃料乾式貯蔵設備の増強工事

貯蔵容器 24 基中 17 基の製造が完了しており、今年度は、第四期工事分の貯蔵容器 4 基ならびに第五期工事分の 2 基について製作を継続します。

2) 新規規制基準の適合性について（安全対策設備の設置）

新規規制基準への適合性について、原子力規制委員会へ設置変更許可を地元の理解を得た上で申請したいと考えています。また、これらの活動について、地域の皆様へ十分なご説明を行ってまいります。

（添付資料－2，3，4参照）

3. 燃料等輸送計画

（1）新燃料、使用済燃料

- ・新燃料及び使用済燃料の輸送計画は、ありません。

（2）低レベル放射性固体廃棄物

- ・低レベル放射性固体廃棄物の輸送計画は、ありません。

4. 添付資料

添付資料－1 東海発電所 廃止措置実施状況

添付資料－2 東海第二発電所 安全対策設備の設置例（防潮堤）

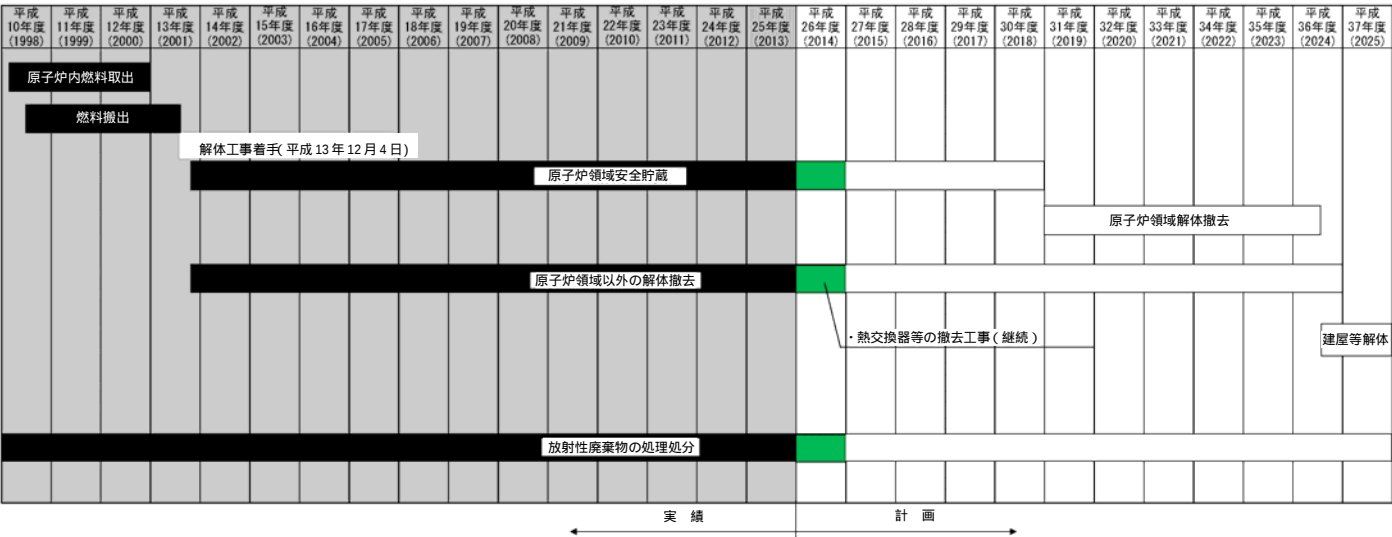
添付資料－3 東海第二発電所 安全対策設備の設置例
（炉心損傷防止対策例）

添付資料－4 東海第二発電所 安全対策設備の設置例
（格納容器破損防止対策・放射性物質
放出抑制対策例）

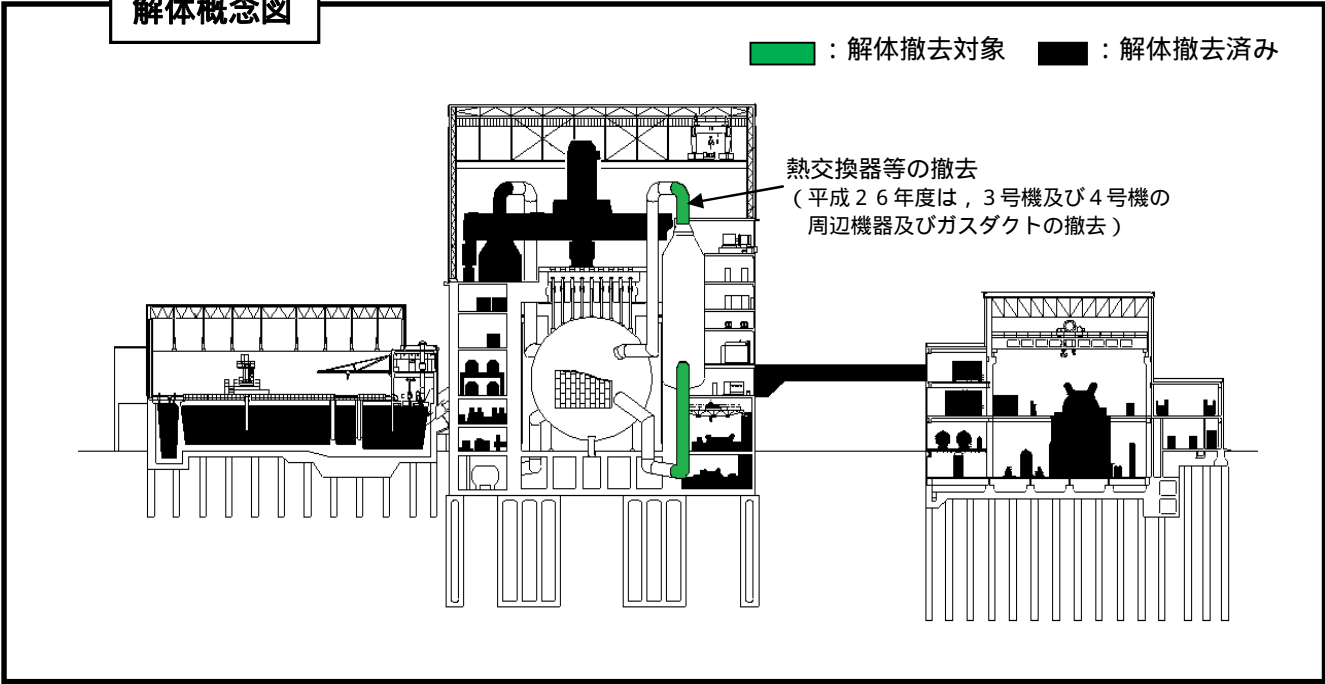
以 上

東海発電所 廃止措置実施状況

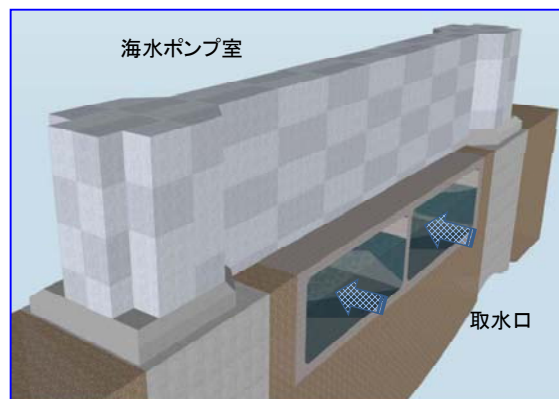
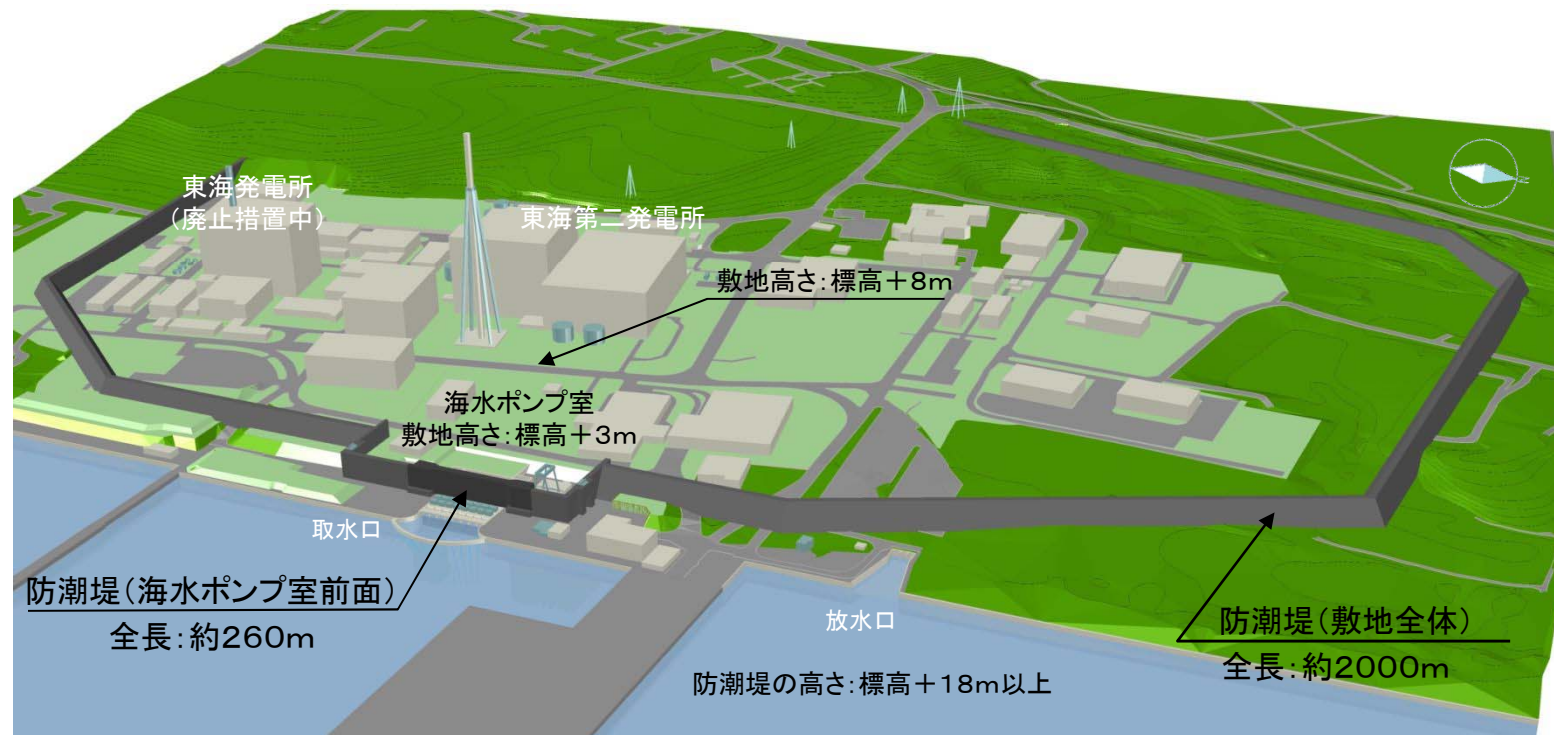
廃止措置工程



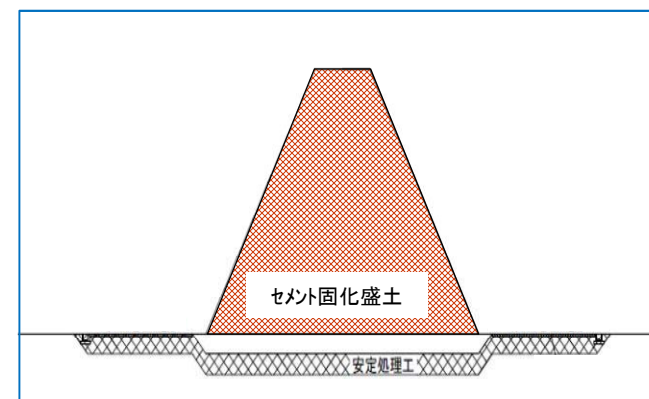
解体概念図



東海第二発電所 安全対策設備の設置例（防潮堤）

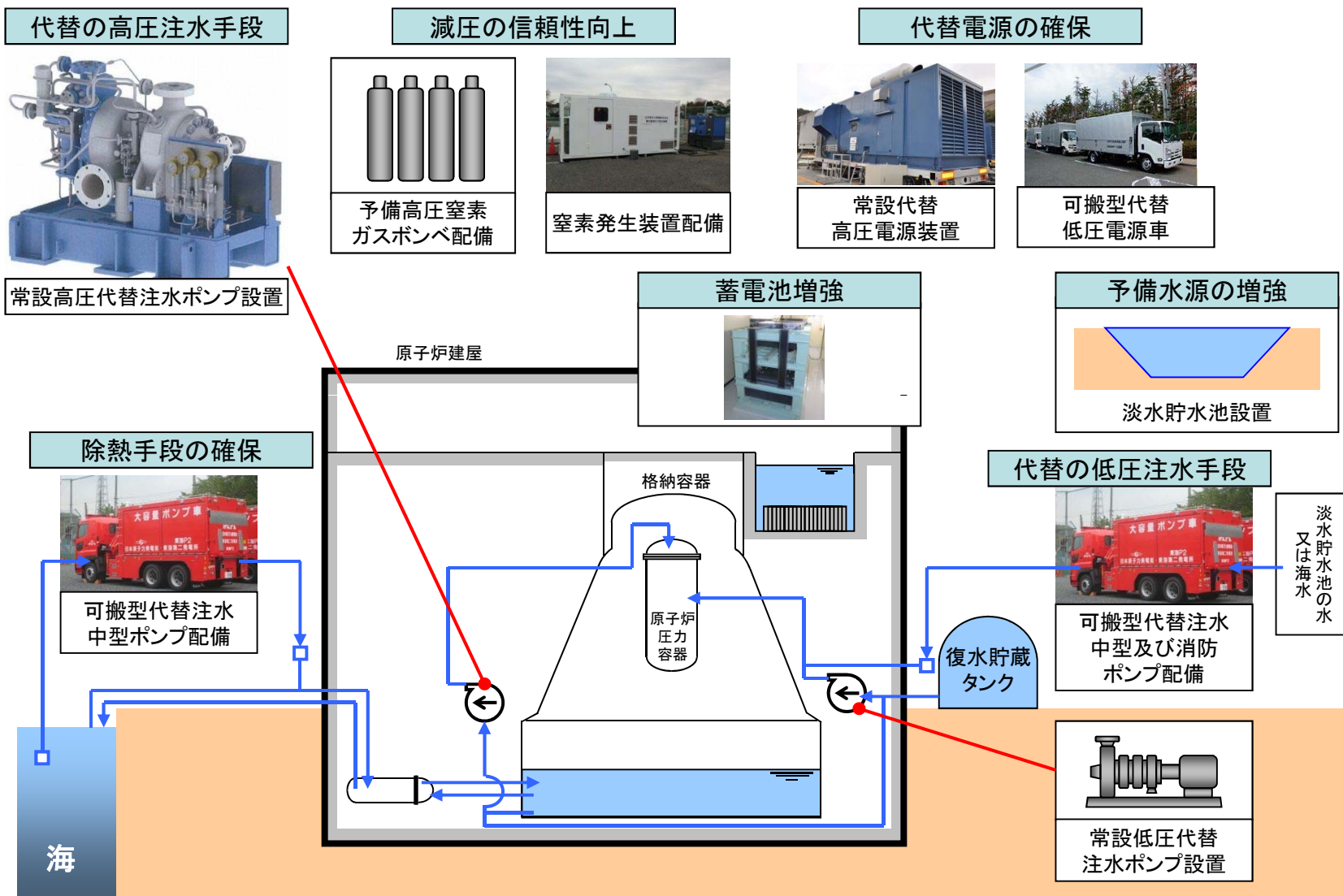


海水ポンプ室 前面イメージ図



敷地全体 断面イメージ図

東海第二発電所 安全対策設備の設置例 (炉心損傷防止対策例)



東海第二発電所 安全対策設備の設置例 (格納容器破損防止対策・放射性物質放出抑制対策例)

